

平成 2 6 年度 事業 報告

自 平成 2 6 年 4 月 1 日
至 平成 2 7 年 3 月 3 1 日

公益社団法人 京都デザイン協会

平成 2 6 年度 事業 報告 に あ た っ て

私たち京都デザイン協会は、一般社団法人として 45 年に亘る輝かしい歴史を土台とし、公益社団法人に移行して 2 年目の活動が無事終え、3 年目を迎えようとしています。デザイン力で人々の生活を豊かにし、調和のとれた社会をつくるため、会員はもとより、京都府、京都市、京都商工会議所をはじめ、多くの団体、企業様のご理解とご協力をいただきながら事業展開してまいりました。

ここに、平成 26 年度の事業報告をさせていただきます。

理事長 奈良磐雄

1. 京都デザイン賞事業（公1）

1200年の歴史に培われた京都の伝統と文化を守りながら、新たなデザイン手法を用いて新しい京都のデザイン創出を図ることで、地域デザインの活性化及び地域産業の振興を目的とした事業を、以下の要領にて審査会・入選作品展・表彰式・作品講評会・交流会等を行った。

【事業概要】

提案部門(製品化・実用化することを前提としたもの)と、作品および製品部門(既に製品化・実用化されているものに限る)の2部門4分野に、新設の課題部門(日本酒のラベルデザイン：製品化・実用化することを前提としたもの)での作品を募った。

第1分野 グラフィックデザイン・ポスター・ブック・パンフレット・写真・イラストレーション・パッケージデザイン

第2分野 ファッションデザイン・テキスタイルデザイン・キモノ

第3分野 プロダクトデザイン・クラフト・雑貨デザイン

第4分野 ディスプレイ・インテリアデザイン・建築・ランドスケープ

【募集告知の方法】

1. 応募要項をデザイン関係企業、デザイン関係大学、会員企業等に郵送。
2. ホームページでの告知およびメールマガジン、SNS等へのネット配信。
3. 京都府庁秋の一般公開における広報と連携を行った。

【応募総数】

83社(人) 応募点数：102点

【審査会】

審査日：平成26年10月11日(土)～10月12日(日)

場 所：京都市立芸術大学円形ホール

【審査員】

審査員委員長：奈良磐雄(公益社団法人京都デザイン協会理事長)

第1分野：杉崎真之助(グラフィックデザイナー・大阪芸術大学教授)

第2分野：滝口洋子(京都市立芸術大学教授)

第3分野：北條崇(プロダクトデザイナー・京都造形芸術大学准教授)

第4分野：新井清一(建築家・京都精華大学教授)

課題部門：伏見酒造組合・京都酒造組合

全部門共通：中島信也(株式会社東北新社取締役・CMディレクター)

京都府 京都市 京都商工会議所 京都新聞社、京都デザイン協会正会員

【審査結果】

京都デザイン大賞	1点
京都府知事賞	1点
京都市長賞	1点
京都商工会議所会頭賞	1点
京都新聞賞	1点
学生賞	1点
伏見酒造組合賞	1点
入選	29点

【入選作品展】

日 時 平成26年11月1日(土)～11月9日(日) 10:00～17:00
場 所：京都府庁旧本館2階
入場者数：約1000名

【表彰式・作品講評会】

日 時：平成26年11月9日(日) 16:00～17:40
場 所：京都府庁旧本館2階正庁
出席者数：55名

【交流会】

日 時：平成26年11月9日(日) 18:00～21:00
場 所：京都平安ホテル
出席者数：51名

入選者、応募者、デザイナー、デザイン関連業務に携わる者、デザインに関心を持つ者を対象に、審査員および正会員との相互交流を図り、新たなデザイン事業へと繋がった。

【主 催】

公益社団法人 京都デザイン協会

【後 援】

京都府、京都市、京都商工会議所、(公財)京都産業21、京都府中小企業団体中央会、京都市立芸術大学、京都意匠文化研究機構、京都新聞、京都新聞COM、NHK 京都放送局、KBS 京都、エフエム京都

【協 力】

京都芸術家国民健康保険組合、(株)染織と生活社、(株)田中直染料店、府庁旧本館利活用応援ネット、(株)リーフ・パブリケーションズ

【協 賛】

京都造形芸術大学、京都外国語大学、京都芸術デザイン専門学校、京都嵯峨芸術大学、京都精華大学、(株) 祇園平八、長岡スイミングスクール、イワモトエンジニアリング(株)、(有) エム・イー・エフ、刀剣 開陽堂、株式会社 俄、松井建設(株)、(株) 高橋工務店、(株) アートバンク、アーバンホテルシステム(株)、(株) アイビー長崎、アドバンストマテリアルジャパン(株)、(株) アルク、薨技塾 徳舂瓦店(有)、(株) かねわ工務店、(株) かわな工業、北白川天然ラジウム温泉、NPO 法人京都伝統工芸情報センター、京都履物(株)、弁護士法人 佐渡春樹法律事務所、(株) 宍粟住建、湯の宿 松栄・誠の湯、ターナー色彩(株)、(株) ターレンスジャパン、(株) 大京リアルド、(有) ティアック、(株) TNC ブライダルサービス、(株) ナカタニ工務店、(株) 西川紙業、(株) 西村工務店、万朶花(株) PALM、(株) フクナガ、ホルベイン工業(株)、BAL 中澤(株)、まつもとクリニック、(株) みっくす、(株) メディアインパクト

2. デザインアドバイス事業 (公1)

2-1. デザイン相談会

2-1-1. デザイン相談会 (通期)

日 時 : 電話・メール予約にて(月)から(金)までの13:00から17:00受付。予約受付後に選任された会員が相手方と日程調整を行い、個々に対応を行った。

周知方法: ホームページ・印刷物(伝統産業関連企業、京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都産業21等)への配布。
画箋堂、京都府中小企業団体中央会、京都府中小企業技術センターに相談会パンフBOXを設置

対 象 : 一般の企業・個人・団体

2-1-2. 京都府「ぬくもり京都丹波」ブランドに関するアドバイス

ぬくもり京都丹波認定審査会

平成22年にスタートした行政と障害者事業所の共同事業にデザインアドバイス面で参画、今年で5年目になる

日 時: 平成27年1月16日(金) 9:30~14:00

場 所: 丹波マーケス

担 当: 奈良磐雄、田中聡

2-1-3. デザイン相談会（出張窓口）

デザイン展で同時開催される「デザイン相談会」では、多種多様なデザイナーが一般の人や企業の方々からデザインに関する相談を気軽に受け付ける窓口を会場内に設けた。

日 時：平成26年11月1日（土）～11月7日（金）7日間

午前10時～午後5時

会 場：京都府庁旧本館2階「正庁」「デザイナーの仕事・展」会場内

相談料：無料（事前予約により受付た）

周知方法：ホームページ・印刷物（伝統産業関連企業、京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都産業21、等）への配布を行った。

対 象：一般の企業・個人・団体

相談者：3組

相談内容：天井画のデザインについて

企業イメージ、商品イメージ等のデザイナーについて

商品デザインの委託について

担 当：川口凱正、古川加津夫、竹林善孝、田中聡、井上昌彦

3. 伝統工芸デザイン支援事業（公1）

京都の文化伝統を背景に培われた工芸品に今の時代性を加味し、新しいニーズの創出を目指すためのデザイン支援を行う事業。京都デザイン協会会員、学生会員、一般学生と、伝統工芸に携わる個人・小規模企業との共同研究として実施する。

平成26年度は受け入れ門戸を開いていたが、後援以外の事業実施はなかった。

3-1. 平成26年度学生デザインコンペ THE COMPE ーきものと帯ー

日 時：平成26年10月から11月

主 催：THE COMPE ーきものと帯ー 実行委員会／一般社団法人京都産業会館

募集・審査・展示の事業に後援した。

4. 研究・シンポジウム事業（公1）

4—1. 通りのデザイン事業（三条通プロジェクト）

概要：かつて町内のコミュニケーションは「通り」を軸に形成されていた。「通り」は生活文化の中心であり、街並景観は住民の意識の表現とも言える。「通りのデザインを考える」ことが町の将来を考えるキーポイントであるという共通認識のもとに、三条通りをモデル事業として、デザイナー、大学、学生、地域住民、行政、企業など関心のあるものが集まり、景観、観光、交通、商業、生活など様々な観点から市民、大学、企業、団体と一緒に調査・研究を進めてきた。

- ・三条通を京都観光のための「歩く街道」として位置づけ、京都の都市の中心軸と設定する。
- ・その中心軸としての三条通は、観光客が歩いて自分だけの観光ルートを発見するための基軸になる通りである。
- ・このような三条通の魅力を探るために、調査、研究を経て、「三条通を都市軸とした新たな京都観光の姿」の研究図書を作成した。

平成26年4月：研究図書をホームページに掲載した。

<http://www.kyoto-design.net/sanjyo/>

平成26年9月：京都市・歩くまち京都推進室にKDA研究図書「三条通りを中心とした新たな京都観光の姿」（平成25年度版）を提示。市との協働の可能性を打診した。

4—2. シンポジウム「地域活性化するデザイナーの仕事」

パネラー：土居英夫、井上昌彦

日時：平成27年3月14日（土）

16：00～17：30

会場：秋田公立美術大学サテライトセンター

内容：これまで手がけた建築の実作を通してデザインの手法やその解釈の仕方、また地域活性につながる伝統を生かした建物の再利用などについて語った。

参加人数：市民約40人

5. 会員の創作・研究・発表とデザイン向上を図る事業（他1）

5—1. 会員展

名 称：ひと筋の布に藝が踊る

「琳派に遊ぶ展」

内 容：京都府・市が取り組む琳派 400 年に因み、琳派のアーティスト気分で平成の傑作に挑戦。定義のない琳派の画風は伸びやかでゆったりとした描線に象徴され、庶民的でユーモアやウィットに富んだ粋（すい）な画風である。会員は「自由で新しくウィットが感じられる」と思うものをマイ琳派イメージをデザインし生地を展開し展示した。

デザイナーの視点による新しい提案を行ない展覧会を開くことで、地域・業界の活性化を図り、併せて会員間の相互交流を図る。

日 時：平成 27 年 2 月 24 日（火）～3 月 1 日（日）

会 場：万華鏡ミュージアム 姉小路館ギャラリー

京都市中京区姉小路通東洞院東入曇華院前町 706-3

参加者：家原恵太、井上昌彦、大石義一、大入達男、岡本一真、片倉文恵、川口凱正、官能右泰、(株) イヤタカ、高橋真帆、小山比奈子、才門俊文、鈴木秀信、高濱豊、田中聡、辻勇佑、辻中進、土居英夫、中西ひろむ、奈良磐雄、久谷政樹、藤田誠、藤原義明、古川加津夫、堀野美雪、本郷大田子、森川恒、山岡敏和

入場者数：210 人

5—2. 「春の観桜祭」 出展

名 称：ひと筋の布に藝が踊る

「琳派に遊ぶ展」

内 容：5—1 の内容で展示形態を変えて展示した。

日 時：平成 27 年 3 月 21 日（土）～3 月 31 日（火）

会 場：京都府庁旧本館正庁

5—3. 「日本酒まつり」 出展

名 称：うまい京都の酒に酔う、デザインに酔う

「京都の日本酒にデザインで乾杯！展」

内 容：デザイナーの視点による新しい提案を行ない展覧会を開くことで、地域・業界の活性化を図り、併せて会員間の相互交流を図る。

前年度の会員展の作品を展示した。

日 時：平成 27 年 3 月 21 日（土）

会 場：御香宮神社 参集館（日本酒まつり「きき酒会会場」）

5—4. デザイン展

名 称：「デザイナーの仕事・展」 2014

日 時：平成26年11月1日（土）～11月7日（金）7日間

午前10時～午後5時

会 場：京都府庁旧本館2階正庁

入場料：無料

入場者数：891人

後 援：京都府、京都市、京都商工会議所、公益財団法人京都産業21、京都府中小企業団体中央会、京都市立芸術大学、京都新聞、NHK京都放送局、KBS京都、エフエム京都

協 賛：株式会社グッドマン裏具プロジェクト、有限会社匠弘堂

内 容：デザイナーの仕事とその社会的役割をわかりやすく表現し、一般の方々にデザインの力とその価値を広く伝えていくことを第一の目的とします。京都府庁旧本館「正庁」において、参加する各分野のデザイナーが過去の成功実例などをもとに、日常生活や事業の活性化にデザインがいかに効果的であるかを分かりやすく伝える。

同時開催の「デザイン相談会」では、一般の人や企業の方を対象にデザインに関する相談を受け付ける窓口を設けた。

参加者：30名

会 員：17名

井上昌彦 大野好之 岡本一真 片倉文恵 官能右泰 才門俊文
竹林善孝 田中聡 辻中進 土居英夫 中西ひろむ 奈良磐雄 久
谷政樹 藤原義明 松原出 山岡敏和 吉川弥志

非会員：13名

新井清一 江島美恵 老田徳廣 奥野八十八 窪田謙二 黒川ツナ
子 住谷晃也 橘浩貴 長坂大 根橋聡子 安原三郎 ピーター・
ボロンスキー 横川総一郎

5—5. デザイン展<秋田巡回展>

名 称：「デザイナーの仕事・展 2014」<秋田巡回展>

日 時：平成27年3月8日（日）～3月29日（日）

会 場：秋田公立美術大学サテライトセンター・ギャラリー

秋田駅前フォンテ A K I T A 6階

内 容：デザイン展の作品を秋田市にて展示する。

広 報：「週刊アキタ」平成26年11月22日に掲載

入場者数：550人

6. 会員相互の交流を目的とした事業（他2）

協会会員の目線に立って相互の親睦・交流を行い活性化を図った。

6-1. 交流会の開催

6-1-1. 新旧役員歓送迎会

日 時：平成26年4月25日（金）

会 場：菜館 wong 京都市右京区太秦帷子ノ辻

参加数：KDA 理事 9名

6-1-2. KDA 総会 交流親睦会

日 時：平成26年5月30日（金）

会 場：卯柳先斗町一花 京都市中京区先斗町

参加数：KDA 正会員、特別会員、賛助会員の21名

6-1-3. 京都デザイン会議 交流親睦会

京都デザイン関連団体協議会メンバーを含めて会議参加者相互の交流親睦会を開いた。

日 時：平成27年2月8日（日）17：20～

会 場：京都市国際交流会館 レストラン「ルヴェンソン・ヴェール」

参加数：70名

6-2. KDA サロンの開催（年2回）

会員に焦点をあて、事務居・作業所などを訪問して、どのような仕事に取り組んでいて、どのような作品を生み出しているかなどを見聞し、感じてもらった。

6-2-1. 第5回 KDA サロン ～信長は名デザイナー？～

日 時：平成26年10月3日（金）

会 場：さいりん館町家 室町二条

参加数：※定員10名が集まらず中止

6-2-2. 第6回KDAサロン

内 容：京都府中小企業技術センターで3Dプリンターの視察

日 時：平成26年11月21日（金）

会 場：中小企業技術センター1F 3Dラボ

指 導：中小企業技術センター デザイン担当 古郷彰治／技術担当
宮内宏哉

参加数：会員9名が参加

6-3. Designers Mini Cafe

会員同士や会員と地域の人達（数人）との小規模で気軽なコミュニケーションの機会を随時持つことができた。

6-4. 国際交流事業

6-4-1. 香港貿易発展局との意見交換

日 時：平成26年8月6日

会 場：KDA 事務局

6-4-2. IDT Expo 2014の見学

日 時：平成26年12月4日（木）～6日（土）

会 場：香港コンベンション&エキシビションセンター

参加者：理事6名、正会員2名、KDA関係者2名の計10名

6-5. 他団体との交流事業

6-5-1. ファッション京都推進協議会

○平成26年度企画委員就任及び第1回企画委員会

日 時：平成26年5月28日（水）14:00～15:00

場 所：京都商工会議所第3会議室

6-5-2. 京都府「伝統と文化のものづくり産業振興審議会」

○京もの工芸品「京都オークション」出品作品審査会

日 時：平成26年12月5日（金）10:00～12:00

場 所：京都市リサーチパークK I S T I C 101号室

6-5-3. 京都府総合教育センター

○「平成26年度研修講座の講師派遣」

日 時：平成26年6月30日（月）13：00～17：00

場 所：京都府総合教育センター

6—5—4. 震災復興支援協賛事業「めぶくアート展」

○「2014年度めぶくアート展」作品出品、展示、広報協力

日 時：平成26年10月7日（火）～10月13日（月・祝）

10：00～18：00

場 所：東北電力グリーンプラザ プラザギャラリー NORTH

6—5—5. 第56回NDK新人デザインコンテスト

○後援、公開審査会、賞状下付

日 時：平成26年11月11日（火）15：00～

場 所：府民ホール「アルティ」

6—5—6. 「第86回誂友禅染競技会」賞状下付

主 催：京都誂友禅工業協同組合

6—5—7. 街の色研究会・京都

○「シンポジウム 京都の街なみ景観を考える」協力

日 時：平成26年11月15日（土）13：00～17：00

場 所：みやこメッセ 地階 特別会議室

6—5—8. 京都府総務部府有資産活用課

○「京都府庁旧議場リニューアルオープンセレモニー」出席

日 時：平成26年11月15日（土）9：30～11：10

場 所：京都府庁旧本館北側 旧議場

6—5—9. 一般社団法人関西インテリアプランナー協会

○「Preパリ・デザインウィーク in Kyoto」後援

日 時：平成26年11月22日（土）～24日（月祝）

場 所：京都伝統工芸館

6—5—10. 京都府「伝統と文化のものづくり産業振興審議会」

○京もの工芸品「京都オークション」出品作品審査会

日 時：平成26年12月5日（金）10：00～12：00

場 所：京都リサーチパークK I S T I C 101号室

6—5—11. 京都友禅協同組合 京友禅総合展「第66回京友禅競技大会」

後援・作品審査、賞状下付

主 催：京友禅協同組合連合会

日 時：平成27年3月17日（火）13：30～16：30

場 所：みやこめっせ

6—5—12. 京都府「あったか京都推進会議」

○ 京都府「あったか京都推進会議」委員会

日 時：平成27年3月18日（水）15:00～17:00

場 所：京都平安ホテル 1階 金閣の間

協議事項：平成27年度あったか京都ユニバーサル観光創造事業について

6—6. 広報

会員相互の親睦と同時に、パブリックリレーションを図るために行った。

6—6—1. 広報誌 LOOK!KDAの発行

LOOK!KDA vol.8 夏号を平成26年8月発行。

6—6—2. 広報

・平成27年3月 平成27年京都府庁観桜祭パンフレットに広告掲載。

内 容：「公益社団法人京都デザイン協会告知」

・平成26年6月 京都芸術家国民健康保険広報誌に広告掲載。

内 容：「京都デザイン賞2014募集告知」

7. 京都のデザイナーによるデザイン会議（他3）

7—1. 第35回京都デザイン会議の開催

京都を中心として活躍している海外のデザイナーをパネラーとして招き、シンポジウムでディスカッションし、その後分科会として参加者と議論しあう場を設け、双方向型意見交換の場から仕事のヒントが生まれ、京都デザインをグローバルに発信していくことを目指した。

テーマ：『グローバルワーキングを考える』

—京都で活躍する海外のデザイナーに何を聞きたい？—

日 時：平成27年2月8日（日）

午後1:30～4:40

会 場：京都市国際交流会館 kokoka 2階 特別会議室

参加者：94名

第一部「シンポジウム」

パネラー：Bettina Langer-Teramoto（ドイツ・ケルン出身 建築家）

Duncan Brotherton（オーストラリア出身 グラフィックデザイナー）

ナビゲーター：Eric Luong（カナダ出身 アートディレクター・翻訳家）

第二部「グループディスカッション」（分科会）（パネラーを含む）

Ricky Fong (中国香港出身 マーケティング・マネージャー)
Hirisha Mehta (インド出身、グラフィックデザイナー)
Peter Boronski (ニュージーランド出身 建築家)
Derrick Tran (オーストラリア出身 ライフコーチ)
Renaud Vergnais (フランス出身 建築家)

7-2. 京都デザイン会議機関誌の発行

名 称：京都デザイン関連団体協議会広報誌
発 行：京都デザイン関連団体協議会
内 容：A4版 32ページ 500部
編 集：京都デザイン関連団体協議会 実行委員会

8. 収益事業（収）

該当する事業は無し。

●資料中の略称について

公益社団法人の事業は、大きく2つに分類

- (1) 公益目的事業
- (2) 収益事業等
 - (2)-1, 収益事業
 - (2)-2, その他の事業（相互扶助等事業）

これらの事業を以下略称で示している。

- (公1) →デザインを通じて地域基盤の向上と地域産業の振興を推進する公益目的事業
- (収) →収益事業を表す。
- (他1) →デザイナーである会員の創作・研究・発表を行い、そのデザインの向上を図る事業
- (他2) →会員間相互の交流を目的とした事業
- (他3) →京都のデザイナーによるデザイン会議